

「ランチタイム懇話会」(初期キャリア研究者支援ワーキンググループ主催)

- 日時：5月21日(日) 11時55分～12時50分
- 開催方式：ハイフレックス方式
- 会場：早稲田大学

- テーマ：ポスト・コロナ時代のネットワークづくり
- スタッフ(敬称略)：飯泉佑介、池田信虎、内山真莉子、柿本佳美、佐藤真人、小島優子、吉原雅子
- 参加基準：原則として初期キャリア研究者(無所属・院生・非テニユア、非常勤講師や任期付雇用等含む)

- 広報文

日本哲学会大会 2 日目に、初期キャリア研究者を対象としたランチタイム懇話会をハイフレックス方式で開催します。

初期キャリア研究者にとって、研究の進展やキャリア形成のためにさまざまなつながりを作っておくことは大切なことです。しかし、なかなか人間関係が広がらず悩んでいる方も多いのではないのでしょうか。特にコロナ禍の近年は、授業や研究会がオンラインで実施され、懇親会などの機会が著しく制限されたため、研究者同士の自由な交流が行われにくくなっていました。人知れず、不安と孤独を抱えてきた方は少なくないかもしれません。

ランチタイム懇話会は、研究者のネットワークづくりを後押しする場所です。今回は、参加して頂いた方の困りごとや悩みごとをグループ単位でゆるやかに共有しつつ、意見交換や情報交換を行なって交流を深めていきます。日本哲学会の大会に初めて参加した方、いつも一人で参加している方、まだ対面の学会に慣れていない方、同じような境遇の人たちと知り合いになりませんか？院生や無所属の方はもちろん、非常勤講師や非テニユア職の方も大歓迎です。研究や生活、将来の展望に関する悩みや不安を共有して一緒に解決策を考えていきましょう！ぜひお気軽にご参加ください。

2022 年度のランチタイム懇話会(初期キャリア)で話し合った話題の具体例：

- 交通費のかかる対面の学会には、どの程度の頻度で参加するものか
- 対面の学会には、どのような姿勢で臨むといいのか
- どのようにして大学院修了後の生計を立てたらいいのか
- 研究テーマをどのように絞ったらいいのか
- 研究活動で SNS は使うメリットとデメリットは何か
- オンラインの研究者ネットワークには、どのようなものがあるのか
- 英語論文の投稿に関するノウハウはどのようにして身に付けられるのか